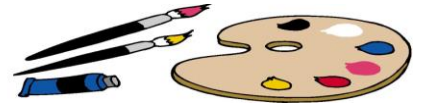


ひびしんギャラリー NEWS



発行 福岡ひびき信用金庫 総務部

2020年 3 月号



今月のギャラリー

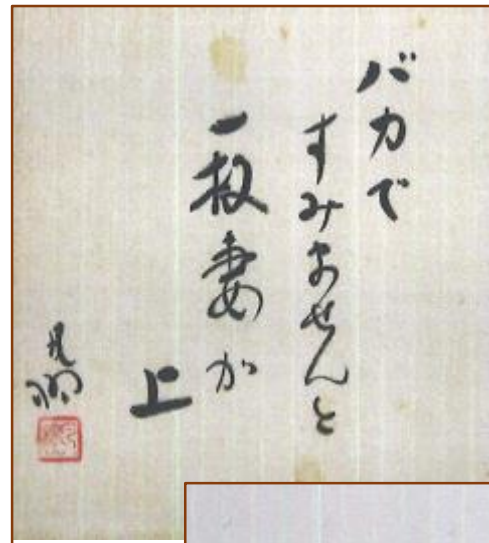
北九州の 川柳を支えた人びと展

北九州の川柳吟社の推移

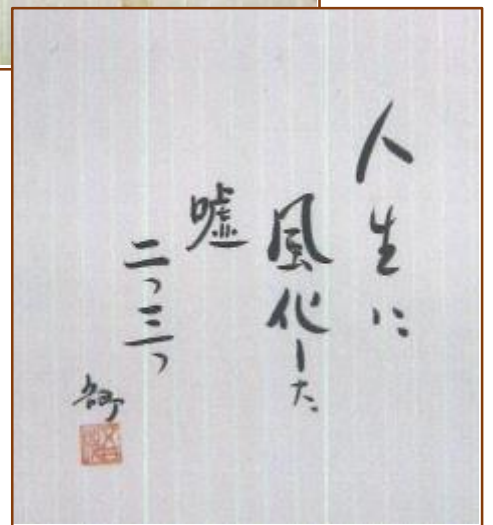
年号	川柳吟社の動き
明治39年	八幡製鐵総合文芸誌「洞海」の創刊
昭和 3年	川柳くろがね吟社の発足
昭和 4年	「川柳くろがね」の発刊 戦時で一時中断するも現在938号
昭和 5年	戸畑川柳同好会の発足
昭和22年	「化成川柳同好会」発足「かせい」の創刊 現在休止
昭和28年	飯塚番傘川柳会創設 現在に至る
昭和32年	小倉むらさき川柳会(現在の小倉番傘川柳会)発足
昭和37年	若松破船川柳会発足「破船」創刊 現在休止
昭和38年	北九州川柳作家連盟発足 現在に至る
昭和50年	八幡高炉台公園に石橋陸朗句碑建立
平成15年	句会セブンティーン創設 現在に至る

〈主催〉川柳くろがね吟社
主幹 古谷 龍太郎

3月3日(火) ~ 3月31日(火)



バカで
すみませんと
一枚妻が上
内藤凡柳 (1901~1989)



人生に
風化した嘘
二つ三つ
手嶋吾郎 (1921~2014)

九州の川柳は、北九州から普及したと言っても過言ではない。しかも、昭和4年発刊の「川柳くろがね」誌には関東、関西、四国からの寄稿も多くあり、全国的な交流が盛んであったことが窺われる。

その後、井上剣花坊・梶本紋太氏等の来訪・講演もあり、北九州の川柳が大きく進化して各地に多くの川柳会が創設された。

現在は「川柳くろがね吟社」「小倉番傘川柳会」「句会セブンティーン」の3吟社を中心に川柳の句会が開かれている。(記・川柳くろがね吟社 安川 聖)

ひびしんギャラリー

所在地 北九州市八幡東区尾倉2-8-1
福岡ひびき信用金庫 本店営業部ロビー
鑑賞時間 午前9時~午後3時(土・日・祝日はお休みです)
お問い合わせ 福岡ひびき信用金庫 総務部(福本) TEL093-661-2311

